

子育て応援住宅の入居ご家族決定

子育て応援住宅は、町に永住を希望する子育て家庭に22年間継続して定住すること、地域活動に積極的に参加するなど一定の条件を付して、新築住宅を贈与する事業です。令和元年度に川井地区に1戸を整備し、鈴木様ご家族（4人家族）の入居が決定しました。7月22日に師岡町長から目録の贈呈が行われました。（すでに入居はされておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、贈呈式が延期となっていました。）



▲師岡町長より鈴木様ご家族に目録を贈呈

「広報おくたま」は今月号で800号を迎えました

(1) 第1号 町政時報 令和30年4月5日

奥多摩町政時報

昭和30年4月1日、ここに奥多摩町は誕生しました。面積二六四平方町、人口一四〇八、東京都唯一、全国初の巨樹のまち。町政の発展に努め、四月五日執行の町制にちなみ、四月十日執行の町民投票法による町制施行により、町政は正式にスタートしました。この日を「奥多摩町政時報」の創刊日と定め、この日発行の「奥多摩町政時報」が創刊号となりました。

奥多摩町政時報の誕生

昭和30年4月1日、ここに奥多摩町は誕生しました。面積二六四平方町、人口一四〇八、東京都唯一、全国初の巨樹のまち。町政の発展に努め、四月五日執行の町制にちなみ、四月十日執行の町民投票法による町制施行により、町政は正式にスタートしました。この日を「奥多摩町政時報」の創刊日と定め、この日発行の「奥多摩町政時報」が創刊号となりました。

創刊号から129号（昭和40年12月号）まで「奥多摩町政時報」、130号（昭和41年1月号）から167号（昭和44年2月号）まで「町政時報おくたま」、168号（昭和44年3月号）から「広報おくたま」と名前を変え、これまでの間、町政に関する情報や生活に役立つ情報、町の出来事などの情報を発信してきました。今後も読みやすく親しみやすい広報紙づくりを心がけてまいります。

※広報おくたまに関する問い合わせは、
総務課 83-2345

式辞
本日は、奥多摩町政時報の創刊号が発行され、奥多摩町政時報の歴史が始まりました。この日を「奥多摩町政時報」の創刊日と定め、この日発行の「奥多摩町政時報」が創刊号となりました。

昭和30年4月1日に古里村・氷川町・小内内村の1町2村が合併して奥多摩町が誕生し、その年の4月5日に「奥多摩町政時報」が創刊され、以来毎月5日と必要に応じて臨時号を発行し、今月号で800回目の発行となりました。

創刊号から129号（昭和40年12月号）まで「奥多摩町政時報」、130号（昭和41年1月号）から167号（昭和44年2月号）まで「町政時報おくたま」、168号（昭和44年3月号）から「広報おくたま」と名前を変え、これまでの間、町政に関する情報や生活に役立つ情報、町の出来事などの情報を発信してきました。今後も読みやすく親しみやすい広報紙づくりを心がけてまいります。

※広報おくたまに関する問い合わせは、
総務課 83-2345



◀昭和30年4月5日発行の「奥多摩町政時報」創刊号表紙